

曹洞宗新潟県第四宗務所

昨年十二月より当寺が曹洞宗新潟県第四宗務所の事務所になりました。下越地区(五泉、新潟一部、阿賀野、阿賀、新発田、胎内、村上)寺院数345ヶ寺を統括するものです。所員は8名、任期は4年です。

所長 広蔵寺住職

神田英俊

副所長 阿賀野市観音寺住職

稲垣智正 師

教化主事 胎内市長谷寺住職

安澤浩祥 師

庶務主事 関川村桂岩寺住職

高木邦生 師

梅花主事 新発田市常勝寺住職

栗橋茂則 師

人權主事 新発田市瑞雲寺住職

山口智史 師

書記 新発田市龍泉寺副住

森井俊隆 師

書記 新発田市如意寺副住

寺尾英人 師

第四宗務所護持会長には、山王、佐藤悌吉氏、副護持会長には並槻、佐久間清氏が就任いたしました。

住職多忙になり、お檀家さんの務めは副住職となることが多くなります。よろしくお願い致します。

瑞應寺だより(恭真)

愛媛県新居浜の瑞應寺に修行中の三男恭真の年頭所感です。瑞應寺報「銀杏」一月号に掲載されました。

夕焼けが星空に変わり、聖護寺の穏やかな夜を迎える。それが日々であるが、山水の趣は常に変化しており、実に奥床しいものだ。宗立僧堂が始まり二ヶ月、坐禅や諸々の行いに見る海外の皆さまの真つ直くな求道は明晰なことを感じる。また、鳳来の御婦人方の身に沁みて嬉しい。

此処で出会った人、此処にある坐禅、今という一瞬にとても気が改まり、何かこのゆかりに感謝する日が続くようである。故に量を弁えて生き、健康でありたいと思う。

今日の後には今日はないのであるから、一時を貴いものと考え、これからもう考えたい。上山からここまで、瑞應寺の先輩、同輩方に教えていただいたことが、現在の聖護寺における修行に大きく活きている。そのことにありがたさを懐く今、皆さまの健康を願うとともに、真剣な時を過ごしたい。

新潟県広蔵寺徒 聖護寺詰

神田恭真

役員退任

総代 北本町 齋藤隆夫氏
世話人 柴橋 宮村昭二氏
役員就任

総代 大川町 渡辺慶一郎氏
" 草野 真壁悦郎氏
世話人 船戸 鈴木清一氏
" 柴橋 宮村晴久氏

退任された方には永年にわたり寺発展にご尽力ください有り難うございました。また、新役員様にはご苦労かかりますがよろしくお願ひ申し上げます。

訃報

船戸 富樫一夫氏 逝去

平成二十二年五月二十日享年八十一歳
永年、寺の護持発展にご尽力くださいました。感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

梅花だより

当寺練習会

三月二十四日(木) 午後一時

四月十二日(火) "

四月二日(木) "

五月十日(火) "

五月十七日(火) "

梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか!お釈迦さま・道元さま・瑩山さまを讃え、ご先祖様を敬うところをお唱えします。

仏事の知識

中陰(四十九日)忌

追善供養のなかでも四十九日忌の供養が最も大切なものとされている。中陰は、中有とも言い四有の一つ。四有は、生有、本有、死有、中有のことで、生有は母の胎内に宿りこの世に生を受けるまでの期間、本有はこの世にある間、死有は死んでこの世から中有に移るまで、中有(中陰)は、死から次の生有までの期間とされる。この期間が四十九日忌と呼ばれ、一週間ごとに初七日、二七日・・・となり四十九日目(七七七日)が満中陰で忌明けとなる。

三月にまたがるといけないので忌明けは二月のうちにと相談に来る方がおられるが、ではどうして?と聞いても意味がわからない。みんなそう言うから? 忌明けの日は大切な日、日明け、仕上げ、日払い、死払いとも言う。七・七供養の日送りにより亡き人は成仏してより良い仏さまの世界に生まれるとされる。